令和７年度　**歴史総合＋日本史探究（03コア）**

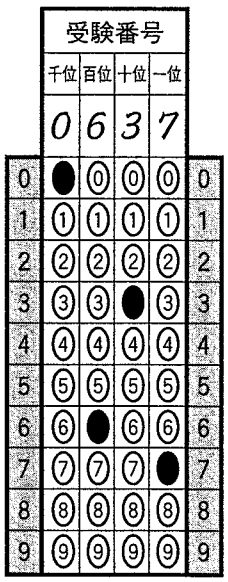
試験開始の合図があるまでに，次の注意をよく読んで，間違いのないように受験してください。

1．試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。

2．この冊子には問題15ページ，マークによる解答用紙マーク，記述による解答用紙記述各１枚がセットになっています。

3．試験開始の合図があったら，問題のページ数を確認し，解答用紙マーク・記述をミシン目で折ってから冊子よりていねいに切り離し，すべての解答用紙に受験番号を記入してください。解答用紙マークの受験番号欄は，右を参考に記入してください。

例　受験番号が０６３７のとき



4．問題・解答用紙に落丁，乱丁，印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。

5．解答用紙マークはすべてHBの黒鉛筆(シャープペンシル可)で記入することになっています。答えを訂正する場合は，プラスチック消しゴムでよく消して，訂正してください。プラスチック消しゴムを忘れた人には貸与します。

6．解答用紙記述は，HB以外の黒鉛筆(シャープペンシル可)や黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。

7．文字ははっきり，ていねいに書いてください。

8．解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。

9．複数の解答用紙がある場合，使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

2025 歴史総合＋日本史探究　解答用紙 マーク

03コア

良い例	悪い例
●	● ◐ ⊗ ◑

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

受験番号					
	千位	百位	十位	一位	
0	⓪	⓪	⓪	⓪	0
1	①	①	①	①	1
2	②	②	②	②	2
3	③	③	③	③	3
4	④	④	④	④	4
5	⑤	⑤	⑤	⑤	5
6	⑥	⑥	⑥	⑥	6
7	⑦	⑦	⑦	⑦	7
8	⑧	⑧	⑧	⑧	8
9	⑨	⑨	⑨	⑨	9

Ⅰ

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	
(1)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(1)
(2)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(2)
(3)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(3)
(4)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(4)
(5)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(5)
(6)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(6)
(7)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(7)
(8)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(8)
(9)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(9)
(10)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(10)
(11)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(11)
(12)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(12)
(13)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(13)
(14)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(14)
(15)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(15)
(16)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(16)
(17)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(17)
(18)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(18)
(19)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(19)
(20)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(20)

Ⅱ

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	
(1)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(1)
(2)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(2)
(3)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(3)
(4)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(4)
(5)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(5)
(6)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(6)
(7)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(7)
(8)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(8)
(9)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(9)
(10)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(10)

本欄は記入しないこと。

十位	一位
⓪	⓪
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨

CB03J-OMR

2025　歴史総合＋日本史探究　解答用紙　記述　03コア

受験番号				

総点	

Ⅲ

(1)		(6)	天皇
(2)		(7)	
(3)		(8)	
(4)		(9)	
(5)		(10)	

評点	

Ⅳ

(1)		(6)	『　』
(2)	藤原	(7)	
(3)		(8)	
(4)		(9)	『　』
(5)		(10)	

評点	

Ⅴ

評点	

CB03J-a

問題は次のページより始まります。

I　次の文章を読み，〔　　〕内の語句から最も適切と思われるものを１つ選び，その符号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 マーク〕(20点)

日本列島内に文字が書かれたものが持ち込まれた事例は，奴国に金印が与えられた(1)〔㋑ 紀元前１世紀 ㋺ １世紀 ㋩ ２世紀 ㋥ ３世紀 ㋭ ４世紀〕にはあったとみることができるが，しかしそのころに日常的に文章を書くまでに文字が定着していたとは考えにくい。また，日本にいつごろ書物が入ってきたのか，その正確な時期についてはいまだによくわかってはいない。しかし，文筆技術が日本列島よりも先に定着しつつあったとみられる朝鮮半島の地域から，渡来した人々が持ち込んだことが想定される。

６世紀前半ごろには，(2)〔㋑ 百済 ㋺ 高句麗 ㋩ 新羅 ㋥ 隋 ㋭ 宋〕から交替で派遣された五経博士が，儒教の書物を教えたと考えられるので，大和王権の内部にはそうした書物を学ぶ人々がいたとみられる。

奈良時代には律令制度に基づいて文書を使った行政が実施されており，多くの役人が書物を読んでいたとみられる。一方，日本最古の印刷物とされる陀羅尼経も残されている。これは，奈良時代後半に畿内とその周辺を巻きこんで起きた(3)〔㋑ 伊治呰麻呂の乱 ㋺ 恵美押勝の乱 ㋩ 壬申の乱 ㋥ 長屋王の変 ㋭ 藤原純友の乱〕の後に，戦乱で亡くなった人々の供養のために，称徳天皇が作らせた百万塔に納めるものとして印刷されたという。

平安時代になると，日本でもさまざまな知識を網羅した百科事典的な書物が作られた。10世紀前半に成立したとされる『和名類聚抄』は，漢字で記された事物の読み方をまとめた書物だが，読み方にとどまらず多くの事物が載っていることで，百科辞書的な性格もある。漢語と和語を並べるように，漢詩と和歌を並べる考え方は，(4)〔㋑ 藤原公任 ㋺ 藤原定家 ㋩ 藤原実資 ㋥ 藤原佐理 ㋭ 藤原行成〕が撰した『和漢朗詠集』にも見られ，国風文化が唐風と和風の融合から成り立っていることを象徴している。10世紀後半以降には女流文学も盛んになり，(5)〔㋑ 赤染衛門 ㋺ 和泉式部 ㋩ 清少納言 ㋥ 藤原道綱の母 ㋭ 紫式部〕が記した『蜻蛉日記』のように，女性が日常を記した作品も残されるようになった。

鎌倉時代の後半になると『本朝書籍目録』という書物が作られた。平安時代には『日本国見在書目録』という日本にある輸入書籍を中心とした目録が作られていたのに比べ，日本で書かれた書物を網羅するという目的をもって作られており，日本での書物の数も飛躍的に増えていた。しかし，後世には古典の代表とされている『竹取物語』や (6)〔㋑ 在原業平 ㋺ 紀貫之 ㋩ 紀友則 ㋥ 藤原純友 ㋭ 文屋康秀〕の『土佐日記』などは採録されずに漏れており，当時考えられていた書物の体系には，こうした作品がまだ組み込まれていなかったのかもしれない。

鎌倉時代には，個人による書物の収集も知られている。現在の (7)〔㋑ 石川県 ㋺ 福井県 ㋩ 京都府 ㋥ 東京都 ㋭ 神奈川県〕に所在する金沢文庫は，幕府の評定衆も務めた北条実時が別邸内に設けた書庫である。室町時代に発展した足利学校にも，多くの書籍が集められていた。儒学を中心とした教育に必要な漢籍が保管されている。(8)〔㋑ ザビエル ㋺ シドッチ ㋩ ヴァリニャーノ ㋥ フロイス ㋭ ロドリゲス〕の著した『日本史』でも当時日本でただ一つの大学として紹介されている。

中世の禅宗の発展によって，僧侶による漢詩文の創作もまた盛んになった。京都五山・鎌倉五山の禅僧による五山文学である。禅僧は室町幕府の政治や外交の顧問としても活躍するようになった。足利尊氏の要請を受けて，後醍醐天皇の冥福を祈るために天竜寺を開いた (9)〔㋑ 義堂周信 ㋺ 絶海中津 ㋩ 無学祖元 ㋥ 蘭溪道隆 ㋭ 夢窓疎石〕は何人もの弟子を育てている。(9) に学んだ春屋妙葩は，初代の僧録となって禅僧の管理にあたった。

古くからの書物を伝えるのに，公家も大いに努力していた。例えば三条西実隆は (10)〔㋑ 桂庵玄樹 ㋺ 雪舟 ㋩ 宗祇 ㋥ 山崎宗鑑 ㋭ 吉田兼倶〕から古今伝授を受けた弟子として知られているが，和歌に限らず多くの書物を書写して残しており，これによって伝えられた書物も多い。

南蛮文化の伝来とともに，新しい印刷技術も入ってきた。(11)〔㋑ ザビエル ㋺ シドッチ ㋩ ロドリゲス ㋥ フロイス ㋭ ヴァリニャーノ〕が伝えた活字印刷機によってローマ字で印刷された書物はキリシタン版と呼ばれたが，『平家物語』『伊曾保物語』などが天草で刊行されている。日本に伝わった活字印刷技術としては，その後，文禄の役の際に朝鮮半島から伝わった木活字を使った印刷が行われ

た。豊臣秀吉が京都に築いた聚楽第に(12)〔㋑　正親町天皇　㋺　後奈良天皇　㋩　後水尾天皇　㋥　後陽成天皇　㋭　明正天皇〕を招いて大名たちに政権への忠誠を誓わせることがあったが，のちにこの(12)の勅命で慶長版本が作られた。このような木活字本が江戸時代の初期には見られたが，その後は木版印刷が主流となって活字印刷は衰退する。

江戸時代の幕藩体制の下で，幕府や藩の役人は，多くの書類を読み，書いた。その書類は「御家流」と言われる書風で書かれ，読み書きのために「御家流」が広く普及した。また，寺子屋による教育の普及などによって，庶民にも読み書きが広まり，江戸時代にはこうした読み書きの普及によって，書物が広く受け入れられる素地ができていた。

江戸時代の半ばからは，出版業が盛んになる。蔦屋は江戸で黄表紙・洒落本・錦絵などを刊行したが，(13)〔㋑　寛政の改革　㋺　享保の改革　㋩　正徳の治　㋥　天保の改革　㋭　宝暦事件〕で山東京伝の作品が処罰され，蔦屋も処分を受けることとなった。一方で大坂では上田秋成が読本の(14)〔㋑　『雨月物語』　㋺　『仮名手本忠臣蔵』　㋩　『金々先生栄花夢』　㋥　『仕懸文庫』　㋭　『誹風柳多留』〕を書いた。

流行作家が登場する世の中となった一方で，国学の進展によって古くから伝えられた書物を対象とした研究が進んだ。『古事記』や『万葉集』を研究した賀茂真淵の門人となった(15)〔㋑　荷田春満　㋺　蒲生君平　㋩　塙保己一　㋥　平田篤胤　㋭　本居宣長〕は，『群書類従』を編纂して古代から江戸時代にいたるまで伝えられてきた多くの書物を後世に残した。

活字印刷術は江戸時代に一時衰退していたが，幕末期に(16)〔㋑　坂本龍馬　㋺　渋沢栄一　㋩　平賀源内　㋥　本木昌造　㋭　森有礼〕が鉛活字の量産に成功したことで，明治初期から活版印刷が隆盛を迎えることとなる。日本で最初の日本語による日刊紙は(17)〔㋑　『時事新報』　㋺　『日新真事誌』　㋩　『横浜毎日新聞』　㋥　『郵便報知新聞』　㋭　『万朝報』〕だったが，新聞はすぐに普及し，大衆への情報提供に大きく貢献した。活版印刷の普及によって，多くの情報が広く届けられるようになったが，こうした近代的な情報普及の裏側で，活字を拾って原稿通りに組んでいく活版工の作業は過酷な労働でもあった。高野房太郎が中心と

なって，1897年に労働組合期成会が結成され職業別組合の必要性を説いたが，早い段階で鉄工組合や日本鉄道矯正会と並んで活版工組合も結成されている。労働組合期成会は1900年の ⒅〔㋑ 工場法 ㋺ 讒謗律 ㋩ 集会条例 ㋥ 治安維持法 ㋭ 治安警察法〕によって弾圧され衰退を余儀なくされたが，日本における労働運動の先駆けとなった。

明治以来の教育の普及と印刷技術の広がりは，活字印刷物の読者を増やし，大正時代には雑誌の刊行が盛んになる。1922年には『週刊朝日』や『サンデー毎日』が発売され，週刊誌が始まった。また1925年には大日本雄弁会講談社が「日本一面白くてためになる」を宣伝文句として大衆雑誌 ⒆〔㋑ 『赤い鳥』 ㋺ 『改造』 ㋩ 『キング』 ㋥ 『少年倶楽部』 ㋭ 『中央公論』〕を発刊し，1928年には150万部を発行するまでになった。⒆ の刊行は戦後も続いたが，戦前のような売れ行きにはならず，1966年廃刊された。

戦後に電気機器が発達し，1950年代には家庭電化製品の中でも白黒テレビ・電気冷蔵庫・ ⒇〔㋑ 電子式卓上計算機（電卓） ㋺ 電気洗濯機 ㋩ 電気ポット ㋥ 電子レンジ ㋭ 電話機〕が「三種の神器」とまで言われるほど普及したが，1960年代後半からはさらに，３Ｃと呼ばれるカラーテレビ・クーラー・カー（自動車）が普及した。こうした電気機器の進化と普及が現在も続く中で，書物として残されてきた情報も，電子技術による普及や保存が進んでいる。これからの時代に，書物はどのような形をとっていくのであろうか。

Ⅱ　次の文章を読み，〔　　〕内の語句から最も適切な語句を１つ選び，その符号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕（20点）

近世の政治・社会・文化を考えるうえで，外国人が果たした役割を無視することはできない。以下，この点について述べていこう。

まず，豊臣秀吉が起こした文禄・慶長の役について考察してみよう。周知のとおり，この戦争は，肥前の (1)〔㋑　佐賀　㋺　原　㋩　名護屋　㋥　大坂　㋭　平戸〕城を拠点として，多くの大名が動員された。朝鮮に出兵した諸大名は，多くの朝鮮人を日本に連れ帰った。その中には，李参平などの朝鮮人陶工がおり，彼らは日本の陶磁器の発展におおきく寄与した。そのような陶磁器の中でもとくに著名なのが，伊万里焼とも呼ばれる有田焼で，後にオランダ東インド会社を通じてヨーロッパなどに輸出され，マイセン磁器に影響を及ぼした。この有田の陶工である (2)〔㋑　酒井田柿右衛門　㋺　狩野探幽　㋩　松永貞徳　㋥　沈当吉　㋭　長谷川等伯〕は，赤絵を完成させたことで知られている。

1600年に豊後に漂着したオランダ船リーフデ号の水先案内人である (3)〔㋑　ヤン＝ヨーステン　㋺　ビッドル　㋩　ルイス＝フロイス　㋥　ウィリアム＝アダムズ　㋭　イグナティウス＝ロヨラ〕は徳川家康の外交顧問となった。相模国三浦郡に領地を支給され，三浦按針という名を与えられた。朱印船貿易などでも活躍し，日本で病死した。なお，朱印船貿易が盛んに行われた結果，東南アジアに多くの日本町が建設された。外国で活動した日本人も多く存在し，たとえば，(4)〔㋑　田中勝介　㋺　支倉常長　㋩　山田長政　㋥　小西行長　㋭　末次平蔵〕はタイのアユタヤ朝で重用されたが，後に毒殺された。

オランダ商館で働いたケンペルは，『日本誌』を書き，ヨーロッパにおける日本理解に多大な影響を及ぼした。この『日本誌』は後に，(5)〔㋑　志筑忠雄　㋺　海保青陵　㋩　西川如見　㋥　緒方洪庵　㋭　富永仲基〕によって一部が和訳され，「鎖国論」として紹介された。

オランダ商館の医者であったシーボルトは長崎郊外に鳴滝塾を設け，高野長英など多くの門人を育成したが，後にいわゆるシーボルト事件で国外追放処分を受けることになった。その罪状とは，帰国の際，国外へ持ち出すことを禁じられていた日

本地図を持っていたことであった。この日本地図をシーボルトに渡したのは，(6)〔㋑ 陰陽師 ㋺ 天文方 ㋩ 神祇官 ㋥ 和学講談所 ㋭ 学習院〕の高橋景保であり，彼らも処罰を受けた。なお，高野長英らは後に幕府の対外政策を批判したことで，処罰を受けることになった。これを蛮社の獄という。

(7)〔㋑ アメリカ ㋺ ロシア ㋩ フランス ㋥ ドイツ ㋭ オランダ〕国王ウィレム2世は将軍に宛てて親書を送り，開国を勧告した。その中には，「謹んで古今の時勢を通考するに，天下の民ハ速ニ相親しむものにして，其勢ハ人力のよく防ぐ所に非ず。(8)〔㋑ 大砲 ㋺ ガトリング砲 ㋩ 鉄道 ㋥ 蒸気船 ㋭ 帆船〕を創製せるにより，以来各国相距ること遠くて猶近きに異ならず。斯の如く互に好を通ずる時に当りて，独国を鎖して万国と相親しまざるハ人の好ミする所にあらず」などと記されている。この開国勧告に対して幕府は，あくまで鎖国体制を遵守することにしたが，海防掛を設置するなどの対応もとった。

さて，幕末になると種々の外国使節が来航し，政治・社会・文化に大きな影響を与えた。もっとも著名なのはペリーやハリスであろうが，ロシア使節プチャーチンも多大な影響を及ぼした。プチャーチンは幕府と日露和親条約を(9)〔㋑ 大坂 ㋺ 新潟 ㋩ 松前 ㋥ 江戸 ㋭ 下田〕で結んだが，この条約では，(9)などを開くことや，択捉島以南の島々を日本，得撫島以北の千島列島をロシアの領土とすることなどが定められた。

また，最幕末には，(10)〔㋑ フランス ㋺ アメリカ ㋩ イギリス ㋥ オランダ ㋭ ロシア〕公使ロッシュが幕府に対して，積極的な軍事援助などを行っていた。

Ⅲ　次の文章を読み，(1)〜(10) の空欄および下線部について，下記の設問に答えなさい。〔解答用紙記述〕(20点)

吉備真備は693年あるいは695年の生まれと伝えられる。いずれであっても持統天皇の治世であり，藤原京を都としていたころに幼少期を過ごした。真備は備中国の地方有力豪族であった下道(しもつみち)氏の出身であり，当初は下道真備と名乗っていた。地方豪族の出身ではあったが，彼の父は中央の役人として仕え，右 [(1)] 府の武官となったことが知られている。おそらく真備は，藤原京からやがて平城京へと遷都(1)していく中で，都やその周辺で育っていったと推測される。

真備の名が歴史書に見えるようになるのは，734年に唐への留学から帰国したころからである。717年に出発した遣唐使に従って留学し(2)，その遣唐使が帰国した後も唐で学び，733年の遣唐使に従って翌年に帰国した。日本からの留学生としては，[(3)] と並んで唐での評価が高かったと伝えられる。帰国にあたって，真備は『唐礼』という書物や，暦術書，楽器，音楽書，弓矢などを持ち帰って献上した。こうした書物・楽器・武具などは，いずれも日本国内にはなかったものや，日本よりも優れた模範品を持ち帰ったものだろう。また，同時に帰国した留学僧の玄昉は，このとき仏教経典5000巻と仏像などを持ち帰っている。(4)

帰国後の真備は，その学問を評価されて大学寮の次官である助となったが，やがて中宮職の次官である亮となり，さらに，738年には右 [(1)] 府の長官となって都の警備を管轄するようになった。唐から武器を持ち帰ったように兵器や兵術にも詳しく，武官の統率能力も評価されていたようである。こうした登用に対して，大宰少弐の地位にあった藤原広嗣が，740年に僧正の玄昉と右 [(1)] 督の下道真備の排除を要求して反乱を起こした。政府軍が派遣されると反乱軍は瓦解し，広嗣は逃亡したが捕らえられて斬殺された。後に玄昉は筑紫観世音寺に左遷されるが，真備も仲麻呂政権の下では中央から排除されたようであり，政権との関係をうまく築くことはなかなか難しかった。(5)

真備は741年には東宮学士となり，皇太子の側近として学問を教える職に就いた。当時の皇太子は阿倍内親王，すなわちのちの [(6)] 天皇である。さらに743年には春宮大夫となって，春宮坊の長官として皇太子の補佐にあたり，こうした貢献

が評価されて，746年には吉備朝臣の氏姓を与えられ，吉備真備と名乗ることになった。このころ，真備が大学寮での釈奠（儒教の祖である孔子とその弟子らを祭る儀式）を整備したと伝えられている。留学で学んだ唐での釈奠のあり方を，できるだけ日本に導入しようと努力したのであろう。

皇太子阿倍内親王は749年に即位し，［ (6) ］天皇となった。側近的立場にあった真備ではあったが，半年後には急遽，筑前守に任じられた。中央では，藤原仲麻呂が，［ (6) ］天皇の母である光明皇太后の威を借りて勢力を伸ばしつつあり，［ (6) ］天皇の師であっても仲麻呂からは排除されたらしい。

真備は752年には遣唐副使として，大使の藤原清河らとともに唐に派遣された。留学経験と学識が評価されての任命であろう。この遣唐使が帰国する際には，留学僧の普照らの働きかけで日本に渡る意志を持った［ (7) ］が，副使の大伴古麻呂の船に同乗して来日した。

帰国直後に，真備は大宰大弐に任命されて，九州に赴いた。大宰府管轄下の九州において，九州北岸の怡土城の造営を任されるなどして，軍事的な能力を発揮している。折から，藤原仲麻呂が専制権力を握り，新羅征討計画を立てていた当時のことであり，仲麻呂にとっては都合がよかったのだろう。さらに，［ (8) ］から帰国した使者が唐での安禄山の乱による危機を知らせた際には，九州での対外防衛のための策を任されている。

［ (6) ］天皇が淳仁天皇に譲位して太上天皇となった後，淳仁天皇・恵美押勝（藤原仲麻呂）と，太上天皇との間で，対立が生じていた。764年正月には，真備は造東大寺司長官に任じられ，都に戻った。この直後に対立する両派の間で内乱が起こり，乱の鎮圧のために真備は内裏に召され，太上天皇方の参謀として活躍した。乱の平定後にはその軍事指揮が讃えられた。

乱後，淳仁天皇が廃されて，太上天皇が重祚し，称徳天皇となった。称徳天皇と道鏡が権力を握っていくのと並行して，真備は太政官の議政官として昇進していき，766年には右大臣に任じられた。

770年に称徳天皇が崩御した際に，皇太子が立てられていなかったため，真備は天武天皇の孫である文室浄三を候補に推したが，左大臣の［ (9) ］やその従兄弟にあたる藤原百川らの反対を受け，また浄三も辞退した。次いで浄三の弟の文室大

市を推挙したが大市も辞退した。そして，［(9)］・藤原百川らは，偽って宣命を作り，天智天皇の孫であった白壁王を擁立することに成功したため，真備はどうすることもできず，右大臣の職を辞して隠居したという。この直後に，称徳天皇による後ろ盾を失った道鏡は［(10)］国にあった［(10)］薬師寺別当に左遷された。

こうして，光仁天皇として即位する白壁王の擁立をめぐる政争に敗れた真備は，その後，775年に亡くなった。

〔設問〕

(1) 下線部 (1) に関して，右［(1)］府という役所の名称のうち，［(1)］には，諸国で戸籍に登録された庶民から軍団の兵士として徴発され，さらにその中から都に送られて宮城や京内の警備にあたった兵士を指す用語が入る。［(1)］にあてはまる語句を記しなさい。

(2) 下線部 (2) に関して，このときの遣唐使に従って帰国した留学僧の道慈は，帰国後に，唐で学んだ仏教界と比べて日本の仏教界を批判した。また，道慈は藤原京の大官大寺が平城京に移転した寺院の整備に際して，自身が唐で学んだ西明寺の伽藍配置を導入したとも言われる。この平城京の寺院の名称を答えなさい。

(3) ［(3)］にあてはまる人物は，真備と同時に留学を開始したが，734年には唐に残って唐の役人としての道を歩んだ。752年の遣唐使が翌年帰国する際に，ともに帰国することを試みたが，船が難破して唐に戻され，その後に起きた安史の乱の影響で帰国できないまま唐で亡くなった。望郷の歌が百人一首にも選ばれている。この人名を答えなさい。

(4) 下線部 (4) に関して，玄昉の持ち帰った多くの経典などをもとに，その後の朝廷は可能な限り仏教経典をそろえようと努力することになり，奈良時代の一切経書写事業が盛んになる。また，玄昉は聖武天皇の母を看病するなどして功績を挙げた。玄昉が看病して病状が改善したと伝えられる聖武天皇の母は誰か，その人名を答えなさい。

(5) 下線部 (5) に関して，藤原広嗣の乱が起きた際に，聖武天皇は平城京から東

国行幸に出向き，そのまま平城京に戻らず，新たな京に遷都することになった。その新たな京の名称を答えなさい。

(6) 真備は，[(6)] 天皇に『礼記』や『漢書』を教えたことから，[(6)] 天皇は真備への恩寵が厚かったという。[(6)] にあてはまる天皇の名を答えなさい。

(7) [(7)] にあてはまる僧侶の名を答えなさい。

(8) [(8)] には，当時日本と良好な外交関係にあった東アジアの国名が入る。その国名を答えなさい。

(9) [(9)] には，藤原北家の出自で，当時左大臣にまで昇進し，光仁天皇の擁立に功績のあった人物があてはまる。この人物を漢字四文字で答えなさい。

(10) [(10)] 薬師寺には，天下三戒壇の一つが置かれた。[(10)] にあてはまる国名を答えなさい。

Ⅳ　次の文章を読み，(1)〜(10) の空欄および下線部について，下記の設問に答えなさい。〔解答用紙記述〕(20点)

摂関政治の最盛期を開いた藤原道長の足場のひとつは，天皇との外戚関係にあった。しかし，道長の子頼通は女子に恵まれず，外戚関係のない後三条天皇が1068年に位についた。(1) 外戚の地位は，後三条天皇の子白河天皇を生んだ茂子の生家である閑院流藤原氏や，白河天皇の嗣子堀河天皇を産んだ賢子の属する村上源氏，白河天皇の近臣藤原顕季に始まる末茂流の六条家などが占めるようになる。しかしながら，これらの諸家から摂政・関白に登用された者はいない。結果的に，摂関家は「摂関の地位を世襲して院・天皇を支える特別なイエ」として確立することになった。摂関は朝廷政治の安定を実現するうえでカナメにあたる位置を占めた。

とはいえ，摂関家が外戚の地位を望まなかったというわけではない。鳥羽天皇には閑院流藤原氏出身の待賢門院藤原璋子，六条家出身の美福門院藤原得子という后がいたが，摂関家の藤原忠実もその女子である高陽院（藤原勲子のち泰子）を鳥羽上皇の后にした。忠実の子忠通・ [(2)] の兄弟は美福門院の生んだ近衛天皇にそれぞれの養女を入内させようとして争った。

鳥羽上皇の信任を得ていた藤原忠通は美福門院と結んで後白河天皇の即位を扶け，保元の乱に勝ち残ることができた。しかし，敗れた [(2)] の所領は収公されて，摂関家の勢力は後退した。平治の乱(3)後には平清盛が勢力を強め，忠通の子基実は清盛の婿になった。基実が1166年に没した時，基実の有していた摂関家領の大部分は基実の正室になっていた清盛の女子盛子が管理することになった。

後白河の愛した后の建春門院平滋子(4)が清盛の正室と姉妹であったために，清盛と後白河との関係は良好だった。その後，比叡山延暦寺の強訴に対する対応などを巡って後白河の近臣と清盛との間に軋轢が生じた。その後，後白河の信任の篤かった清盛の嫡子重盛や前述した盛子が没するに至って，1179年に清盛が後白河上皇を幽閉するクーデターが起きた。摂関を務めていたのは基実の弟の基房だったが，基房はこの清盛のクーデターのさいに流罪に処せられてしまった。

基実の子基通が関白になったが，1183年に平家が都落ちすると，今度は基房が源義仲と結んで権力を奪い返し，子息師家を摂政とした。(5) 義仲を破った源頼朝は，平

家と関係の深い基通，義仲と結んだ基房，の両方を警戒した。1185年に源義経・行家が頼朝と対立した時，基実・基房の弟の兼実(6)は源頼朝追討の宣旨を出すことに反対し，このために頼朝の信任を得た。翌年，兼実が頼朝の推薦で摂政になった。基通の血筋を近衛家，基房の血筋を松殿家，兼実の血筋を九条家という。

近衛家が嫡流の地位を占め，兼実のあと，九条家は鎌倉幕府との関係を強めて地位を強化していった。源頼朝の姉妹が公家の一条能保と結婚して，そこに生まれた女子姉妹が，兼実の子九条良経と閑院流藤原氏に属する西園寺公経とにそれぞれ嫁した。ここに生まれた公経の女子と良経の子道家とが結婚し，後に摂家将軍の初代となる九条頼経が生まれた。

順徳天皇は九条道家の姉妹を娶って仲恭天皇が生まれていたが，順徳は承久の乱の際には討幕に熱心だった。乱後，西園寺公経らの画策で皇位についた [(7)] 天皇の血筋には摂関家との婚姻関係がなかった。このため，九条家・近衛家の双方から [(7)] 天皇の後宮に后が入り，道家の外孫にあたる四条天皇が生まれて1232年に2歳で皇位についた。四条天皇が1242年に早世すると，幕府と九条道家との間に四条天皇の跡目を巡って戦略的な対立が生じた。北条泰時は存命していた順徳上皇が帰京して院政をしくことを嫌い，順徳上皇の皇子を斥けて，[(8)] 天皇を皇位につけた。道家の縁者を斥ける形になったため，鎌倉では道家の子である九条頼経と北条泰時の得宗家との間の対立という形勢が生じた。この年，北条泰時と順徳上皇が相次いで没したため，政情は非常に不安定になってしまった。

泰時の子の時氏は既に没しており，時氏の子経時は病弱だった。そのため，経時の弟の時頼が代わって，頼経の与党勢力を一掃し，頼経を京都に送り返した。京都に対しては九条道家の実権を削いで，[(8)] 上皇が政治権力の中心になるように政務組織の組み立てを改めた。道家・頼経の結びつきに起因して起きた朝廷政治と幕府政治との連動を断つとともに，摂関家を「院権力を支えるイエ」として設定しなおした。九条家は一条・二条・九条の三家に分かれ，近衛家からは鷹司家が分かれ，五摂家が交替で摂関を務めて院の政務を支える態勢になった。

その後，天皇家が持明院統と大覚寺統とに分かれると，中堅貴族たちは二つの血筋にそれぞれ分かれて仕えるようになってゆく。

南北朝の分裂は摂関家にも深刻な分裂を引き起こした。建武政権の崩壊後，近衛

家では経忠が吉野に赴き，従兄弟の基嗣は京都にとどまった。二条家でも師基が吉野に行き，甥の良基は京都にとどまった。一条家では経通が京都にとどまり，子息の内嗣が吉野に赴いた。

その後，北朝では光厳天皇（上皇）の子にあたる崇光上皇と後光厳天皇との間に皇位継承を巡る対立が生じた。観応の擾乱の際に，尊氏・義詮が南朝に降伏した。この和睦のせいで，持明院統の光厳・光明・崇光３上皇が吉野に連行された。このため，足利義詮の要請を受けた二条良基(9)が後光厳天皇を擁立した。崇光上皇が帰京すると後光厳天皇との間に皇位継承争いの形勢が生じた。良基は義詮の子義満とともに後光厳天皇の血筋を支え，後円融天皇・後小松天皇を皇位につけた。

その後，1428年に後小松天皇の子である称光天皇が没して，この血筋は絶えた。崇光天皇の曾孫の後花園天皇が位について現在の皇統になる。14世紀から15世紀にかけて，二条良基とその子孫たち(10)が摂関として北朝の皇位継承を支えた。

〔設問〕

(1) 下線部 (1) に関して，優れた官人・学者として後三条天皇・白河天皇を支え，日記『江記』を記し，著書『江家次第』『続本朝往生伝』や，私歌集『江帥集』などを残した人物がいる。この人物の名を答えなさい。

(2) [(2)] について，この人物の名を答えなさい。

(3) 下線部 (3) に関して，この事件の背景には，後白河上皇とその子の二条天皇との間に，いずれが政務を執るのかをめぐる対立があった。二条天皇の親政を実現するために，源義朝と結んでこの乱をひきおこした後白河上皇の近臣の名を答えなさい。

(4) 下線部 (4) に関して，後白河上皇と建春門院の墓所は，鴨川の東，いわゆる三十三間堂（蓮華王院本堂）の東にある。いわゆる三十三間堂は，ここにあった後白河の御所の持仏堂であった。この御所の呼称を答えなさい。

(5) 下線部 (5) に関して，この時期，松殿師家・近衛基通・九条兼実はすべて安徳天皇に代えて立てられた同じ天皇の摂政であった。この天皇は源頼朝を征夷大将軍に任じ，上皇となってからは，『新古今和歌集』を編さんさせたが，承久の乱で地位を失った。その天皇を答えなさい。

(6) 下線部 (6) に関して，九条兼実は法然房源空に帰依して，その主著とされる著作を贈られている。この著作の呼称を答えなさい。

(7) [(7)] に関して，高倉天皇の皇子で設問 (5) で問うた天皇の兄弟にあたる守貞親王がこの天皇の父である。はじめ，皇位についたことのない守貞が「後高倉院」として院政を行った。[(7)] にあてはまる天皇を答えなさい。

(8) [(8)] に関して，あてはまる天皇（上皇）を答えなさい。

(9) 下線部 (9) に関して，二条良基は有職故実や和歌・連歌にも秀でており，救済や京極導誉らと協力して連歌集を編さんし，1357年に勅撰に準じる勅許を得た。この連歌集の呼称を答えなさい。

(10) 下線部 (10) に関して，二条良基の子経嗣は養子となって一条家を継ぎ，関白として足利義満・義持とともに後小松天皇（上皇）を支えた。経嗣の子は将軍足利義教の時代に摂政，義政の時代に関白を務めると共に，のちには，源氏物語の研究書『花鳥余情』などを著し，日野富子・足利義尚に教訓書を書き与えたりもした。二条良基の孫にあたる，この人物の名を答えなさい。

V　松方財政について，指定された行数（7行）の範囲で述べなさい。〔解答用紙 記述〕(20点)